



令和7年 7月18日
豊玉中学校だより No. 26

Ⅰ学期終了、夏休みに向けて

校長 慶野 富士夫

梅雨とは名ばかりで、連日、耐えがたいほどの厳しい暑さが続いています。気温や湿度が高く、熱中症の危険性が高まる日々が続いており、保護者の皆様、地域の皆様におかれましては、体調管理に十分ご注意くださいと思います。また、最近の雨の降り方は、日中の暑さを和らげたり、農作物への水分補給となったりする「夕立」や「通り雨」のような一時的なものではなく、災害級の集中豪雨となるケースが増えています。短時間に激しく降る雨は、浸水や土砂災害を引き起こす恐れがあり、雷を伴うことも多く、日常生活にも大きな影響を及ぼしています。こうした厳しい気象の中、学校では生徒の安全と健康を守るために、こまめな水分補給の声かけや活動時間の調整、教室の冷房管理、天候の急変への対応など、熱中症や気象災害への予防に取り組んでいます。ご家庭でも、外出時の服装や水分補給、室内の温度管理、そして天気予報や防災情報への注意など、日頃からの備えを意識していただきますようお願いいたします。

さて、本日をもって令和7年度Ⅰ学期を無事に終えることができました。生徒たちは、日々の授業や学校生活を通して、学習面だけでなく、挨拶や時間の使い方、仲間との関わりなど、生活面でも着実に成長しています。運動会では、学年や学級を越えて協力し合い、全力で取り組む姿がとても印象的でした。また、近隣小学校での活動や、身近な場でのボランティアにも前向きに取り組む姿が見られ、生徒たちの社会性や思いやりの心が育まれていることを感じています。こうした日々の積み重ねが、生徒一人ひとりの自信や主体性につながっていることを、学校現場でも強く実感しています。保護者の皆様の温かい応援とご協力、そして地域の皆様のご支援があってこそ、こうした成長が支えられていると思います。改めて、心より感謝申し上げます。

明日から夏休みに入りますが、部活動の大会や発表会、イングリッシュキャンプなど、生徒たちが力を発揮する場が予定されています。それぞれの目標に向かって、充実した時間を過ごしてほしいと思います。また、万が一事件や事故、あるいは心配なことや相談などがありましたら、遠慮なく学校までご連絡ください。生徒の安全と安心を守るため、学校としてもできる限りの対応をしていきたいと思っています。

夏休みは、これまでの学びや生活を振り返り、次の目標を考える絶好の機会です。通知表や三者面談を通して、お子様の成長を感じていただきながら、これからの課題や目標についてご家庭でも話し合ってください。そうした対話を通じて、夏休みの時間がより有意義なものとなることを期待しています。

2学期には、さらに成長した生徒たちとともに、より充実した学校生活を築いてまいります。今後とも、本校の教育活動へのご理解とご協力を、どうぞよろしくお願い申し上げます。

令和7年7月18日 Ⅰ学期終業式 ～ 副校長講話より ～

終業式を迎えました。ついに夏休みだ、と嬉しさで一杯の人が大勢いることでしょう。1年生、2年生の皆さんは、あと3日、あと2日…と指折り数えて、やっと今日を迎えたのではないのでしょうか。また、3年生の皆さんは、これまでとは訳が違う夏休みだ、と憂鬱に感じている人も少なくないかもしれません。

私も豊中に来て4か月が経ちました。4月の始業式での2年生、3年生の様子と、感じよくあいさつができる姿に「いい子たちだし、いい学校だなあ」と嬉しくなったのを思い出します。入学した1年生のためにと、上級生が昨年度から準備を重ねて実施した「ウェルカムプロジェクト」にも「豊中って温かいなあ」と思いました。生徒総会や生徒会朝礼などでも、司会や発表を務める担当者が大変立派で、さらに代表者の話を静かに聞く側の皆さんがその場のよい雰囲気を作り、立派に行事等を支えていました。

5月。中旬から練習を始め、一人一役を担って大成功を収めた運動会。リーダーが苦勞しながらも頑張っている姿、それを感じて協力して頑張る学級の仲間。皆さん一人一人が「カッコいい豊中生」に私には見えました。常に3年生が頑張る姿と、それを見て「来年はあんな風にやるんだ」「3年生みたいになりたい」と全力で取り組む1、2年生の姿がありました。

6月、7月と、日常の学校生活に、定期考査や学年の行事が入り交じり、実行委員会や専門委員会等で話し合う様子をたくさん目にしました。

Ⅰ学期をとおして、皆さんが「集団生活が円滑に進むために、自主的にすべきことをし、個人個人が力を発揮していること」は豊中の最も自慢できる点だと思っています。2学期も、毎日の色々な場面で「当たり前のことを当たり前のように涼しい顔でやってのける」皆さんの姿を見せてもらうのを楽しみにしています。

さて、ここで話を変えたいと思います。皆さんは4月に立てた自分の目標や理想を覚えているでしょうか。「こんな自分になりたい」と思い描いていた姿、イメージにどのくらい近づいていますか。私は恥ずかしいことにかかなりの「忘れん坊」です。目標を立てるそばから忘れてしまう、ということを繰り返してきました。皆さんの中に私のような人、いるでしょうか。

だから、私は【思い立ったが吉日】という言葉が好きです。「何かをしよう／始めよう」と決意したら、そう思った日を吉日（良い日）として、すぐに取りかかるのが良いという意味の言葉です。「気付いたその日その時が、自分にとってのベストタイミングだよ」ということです。Ⅰ学期の終わる今こそ、ベストタイミングと思って皆さんも取りかかってみましょう。そして、一歩でも前に進んだなら自分を褒めてあげてください。

0（ゼロ＝何もしないこと）はどんなに積み重ねても0のままですが、小さくても一歩前進を重ねていけば、何らかの結果がついてきます。期待していた結果を手にすることもあるでしょうし、残念ながら目指した結果にはならないかもしれません。ただし、そこで「目指した結果でないからダメだわ、自分」と考えるのは間違いで、ただ「取り組み方や時間の使い方が、少々違っていただと知ることができた」という結果を得られたのです。そこからまた、【思い立ったが吉日】で、やり方を修正してスタートすればよいだけのことです。

44日間の夏休み、【思い立ったが吉日】で、4月にイメージした自分に近づくための小さな一歩を始めてみてください。読書、筋トレ、技術を高めるための個人練習、学習やランニング…、ぜひやってみてください。

健康に気を付けて、2学期に元気な顔で挨拶をかわせるのを楽しみにしています。よい夏を過ごしてください。

☆ 1 学年 ☆

1年学年主任

先生

豊玉中に入学して、約4か月が経ちました。初めてのことだらけの1学期で、やっと中学校生活に皆が慣れてきたようです。入学してすぐに2・3年生がウェルカムプロジェクトで学校生活のイロハを教えてくれて、安心して楽しく学校生活を始めることができました。

特に運動会では、小学校の行事とは違う迫力や、自分たちで運営することを初めて経験し、学級の団結力が深まりました。運動会実行委員を中心に、運動会を運営しましたが、各競技の作戦会議・学年種目の道具準備・スローガン作成など多くの場面でいろいろな人たちが関わり、自分たちの力で運動会を成功させることができました。それぞれができることがやろうと、豊中生の一員として動けたことに嬉しく思います。また、係やダンスなどいろいろ丁寧に教えてくれる2・3年生の姿に憧れを抱き、来年の運動会へ意欲を繋げています。

行事だけでなく、学習面でも中学校になったからぜひ頑張りたい、と先見の時間に目標を立て、毎日の授業や定期考査に向けて努力をする様子も見られました。まだまだ始まったばかりの中学校生活なので、課題もありますが、この前向きな1学期を忘れずに、2学期以降も元気いっぱいに過ごしていったほしいと思います。

☆☆ 2 学年 ☆☆

2年学年主任

先生

明るく元気に伸び伸びと学校生活を送ることが出来ました。とくに、行事での頑張りが目立った1学期でした。

運動会では、どの学級も練習で少しでも課題があったら、最後まで話し合って、より高みを目指して取り組んでいる姿に感動しました。学年種目のローハイドは、どの学級も紙一重で練習時から白熱した様子を見ることができました。学年練習でお互いに競い合う中で、日に日に技術は上達、団結力も増し、本番では実力を十二分に発揮することが出来ました。また、スローガン作成係、作戦係、カウントダウン係など事前に一人一役の役割分担を決めました。練習以外でも自分の役割を果たす場面が多く、昨年以上に充実した運動会となりました。来年は、ハカやフラッグ、縦割り応援などでいよいよ1・2年生を引っ張る立場となります。どのような形で盛り上げてくれるのか、今からとても楽しみです。

校外学習は「都内巡り」を実施しました。浅草をチェックポイントにし、他は班ごとに博物館や美術館など興味があるところを数カ所回りました。前回の川越校外学習と違い、行動範囲が大幅に広がるので、なかなかプラン通りには進まないのではと心配していましたが、どの班も大きなトラブルもなく、しっかりとルールやマナーも守ることができ、どの班もほぼ計画通りに戻ってくることができました。初めて訪れた観光名所も多かったようで、楽しみながらも多くのことを学ぶことができたようで、充実した校外学習となりました。

このように多くの場面で、生徒の頑張りが成長をたくさん見ることができた1学期でした。2学期からは、生徒会や委員長、部長として2年生が中心となって運営し、部活動を引っ張ることとなります。学校の顔としての存在がさらに増すこととなりますので、その自覚をしっかりとって、2学期も頑張ってもらいたいと思います。

☆☆☆ 3 学年 ☆☆☆

【最上級生としてチャレンジした1学期】

3年学年主任

先生

3年生にとって最上級生としての自覚と責任をもってたくさんのことに挑戦した1学期でした。その取組の中で、「新入生WelcomeProjectⅡ」と「運動会Project」について振り返ります。

「新入生WelcomeProjectⅡ」では「計画委員会」を中心に学級会で企画運営を行い全員で参加しました。昨年度の「新入生WelcomeProjectⅠ」では、1年生の教室で言葉やスライドによる説明が中心でしたが、今年は登校や下校時、給食の時間、掃除や日直など、活動している場面に3年生が出向き、一緒に活動しました。入学式の次の日から元気な挨拶で新入生を迎えたり、給食当番や掃除と一緒に取り組みながら教えたり、夢手帳の重要性や書き方を手ほどきしたりと3年生として2年間学んできたことをやさしく丁寧に教えることができました。1年生の先生方からは、「今週の当番以外の1年生にも理解しやすく、複数の場所で同時にサポートしてもらえて本当に助かりました。」と言っていただきました。3年生も可愛い1年生後輩に手ほどきできて、とても嬉しそうでした。

「運動会Project」では、運動会に向けて「全員が係になって、運動会のために力を発揮する」という取組を行いました。計画委員会が中心になり、多くの係が放課後も残って準備をしました。策略係、心のケア係、風紀隊、カウントダウン係、円陣係、思い出作り隊など、生徒のアイディアと実行力は私たちの想像をはるかに超えたもので驚かせられました。その中の1つである運動会の「縦割り応援」では3年生が考えた各色の応援歌を1・2年生と一緒に歌い、士気を高めました。下級生は学年練習の中でもとても楽しみながら応援の歌を歌っていました。学校初のチャレンジを成功させただけでなく、深まった学級の絆、最高の思い出、とたくさんの収穫がありました。

最上級生として役割をしっかりと果たし、更に新しい試みに挑戦できた1学期は、生徒にとっても充実した学期になりました。